

教科名	音楽科	校種	中学校
-----	-----	----	-----

科目の配当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1年	音楽	必	1.5	AE
		必	1.5	AG
2年	音楽	必	1	AE
		必	1	AG
3年	音楽	必	1	

科目名 (教科名)	音楽 (音楽科)				
担当教員	金沢智子				
学年	1	単位数	1.5	必修・選択・展開	必修 AGコース

### ■ 授業の目的

1. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
2. 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。
3. 幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

### ■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌い合わせ、聴き深める喜び 発声 合唱 (合唱コンクール)</li> <li>○祈りのこころ 聖歌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声・呼吸のしくみ</li> <li>・合唱によるそれぞれの声部の特徴や役割に応じた表現</li> <li>・豊かな情操と、他者を思いやる心を育てる</li> <li>・指揮法・伴奏法の習得</li> <li>・聖歌による歌唱表現と祈りの心を育てる</li> </ul>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さまざまな音楽文化 日本語の抑揚・響きを大切にした歌唱</li> <li>○器楽 (アルトリコーダー)</li> <li>○楽典</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の抑揚やリズム、旋律との関わりを感じ取る</li> <li>・日本語の美しい響きを生かした表現</li> <li>・基礎的な奏法</li> <li>・基礎的な知識の学習 (音名・階名・音符と休符・用語と記号)</li> </ul>
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞 (邦楽：六段の調)</li> <li>○器楽 (邦楽：箏)</li> <li>○くらしと音楽</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の背景となる文化・歴史の学習、鑑賞</li> <li>・和楽器の音色・音階・奏法の特徴を体感する</li> <li>・和楽器 (箏) の基本奏法</li> <li>・音楽著作権とインターネットについて</li> </ul>
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価方法：定期試験 (実技試験・学期末筆記試験) と平常点 (提出物・小テスト等) により各学期の成績を算出する。</li> <li>●割合：定期試験：80% 平常点：20%</li> </ul>	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書： 中学音楽 1 「音楽のおくりもの」 教育出版 中学器楽 「音楽のおくりもの」 教育出版</li> <li>●副教材： 「聖歌集」</li> </ul>	

科目名 (教科名)	音楽 (音楽科)				
担当教員	Ashleigh Grabau 金沢智子				
学年	1	単位数	1.5	必修・選択・展開	必修 AEコース

### ■ 授業の目的

- \*ネイティブ教員による英語での授業を取り入れ、コミュニケーションとしての英語力を身につける。
1. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
  2. 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。
  3. 幅広いジャンルの作品に接し、主体的に鑑賞する能力を育てる。

### ■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	○歌い合わせ、聴き深める喜び 発声 合唱 (合唱コンクール)  ○祈りのこころ 聖歌	・発声・呼吸のしくみ  ・合唱によるそれぞれの声部の特徴や役割に応じた表現 ・豊かな情操と、他者を思いやる心を育てる ・指揮法・伴奏法の習得 ・英語の理解と的確な発音の習得  ・聖歌による歌唱表現と祈りの心を育てる
2学期	○さまざまな音楽文化 サウンドオブミュージック  ○器楽 (アルトリコーダー)  ○楽典	・言葉の抑揚やリズム、旋律との関わりを感じ取る ・英語の歌詞の内容を理解したふさわしい声での歌唱  ・基礎的な奏法  ・基礎的な知識の学習 (音名・階名・音符と休符・用語と記号)
3学期	○日本の文化 鑑賞・器楽 (邦楽: 六段の調・箏)  日本歌曲  ○くらしと音楽	・楽曲の背景となる文化・歴史の学習、鑑賞 ・和楽器 (箏) の基本奏法 ・邦楽による国際交流の体験  ・日本語の美しい響きを生かした表現  ・音楽著作権とインターネットについて
評価の方法と割合	<p>●評価方法: 定期試験 (実技試験・学期末筆記試験は日本語と英語で出題する) と平常点 (提出物・小テスト等) により各学期の成績を算出する</p> <p>●割合: 定期試験: 80% 平常点: 20%</p>	
教科書・副教材等	<p>●教科書: 中学音楽1 「音楽のおくりもの」 教育出版 中学器楽 「音楽のおくりもの」 教育出版</p> <p>●副教材: 「聖歌集」 「英訳プリント (音楽のおくりもの 他)」</p>	

科目名 (教科名)		音楽 (音楽科)			
担当教員		白神 順子			
学年	2	単位数	1	必修・選択・展開	必修AGコース

### ■ 授業の目的

1. 楽しく意欲的に音楽活動に取り組む態度を身に付け、音や音楽に対する興味、関心を深める。
2. 表現したいイメージや曲想を持ち、基礎的な表現の技能を身に付け、創造性を養う。
3. 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

### ■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	○歌い合わせ、聴き深める喜び 発声 合唱 (合唱コンクール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな響きのための発声法</li> <li>・合唱によるそれぞれの声部の特徴や役割に応じた表現</li> <li>・旋律の重なり方や和音の響きを生かしたアンサンブル</li> <li>・指揮法・伴奏法の習得</li> </ul>
2学期	○さまざまな音楽文化 日本の歌 (浜辺の歌)  ○楽典・ソルフェージュ  ○鑑賞 (オーケストラ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞が表す情景の表現と曲の背景の考察</li> <li>・歌詞と旋律・ピアノ伴奏の関わりと効果の体感</li> <li>・拍子や速度、曲の形式を生かした歌唱表現</li> <li>・基礎的な知識の学習 (音名・階名・音符と休符・用語と記号)</li> <li>・表現や鑑賞の音楽活動に生かす</li> <li>・音楽の構成の仕方や形式を理解した鑑賞</li> </ul>
3学期	○音楽とくらし 鑑賞 (雅楽：越天楽)  ○言葉と旋律のかかわり (早春賦)  ○くらしと音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の背景となる文化・歴史の学習、鑑賞</li> <li>・速度や旋律、強弱などの特徴の聴き取りと、全体の構成の確認</li> <li>・雅楽の特徴や表現の理解</li> <li>・旋律のまとまりや強弱を生かした歌唱</li> <li>・歌詞の内容を味わい、形式を理解した表現</li> <li>・音楽著作権とインターネットについて</li> </ul>
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価方法：定期試験 (実技試験・学期末筆記試験) と平常点 (提出物・小テスト等) により各学期の成績を算出する。</li> <li>●割合：定期試験：80% 平常点：20%</li> </ul>	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書： 中学音楽2・3上 下「音楽のおくりもの」教育出版 中学器楽 「音楽のおくりもの」教育出版</li> <li>●副教材：「聖歌集」</li> </ul>	

科目名 (教科名)	音楽 (音楽科)				
担当教員	Ashleigh Grabau 白神 順子				
学年	2	単位数	1	必修・選択・展開	必修 AEコース

### ■ 授業の目的

- \*ネイティブ教員による英語での授業を取り入れ、コミュニケーションとしての英語力を身につける。
1. 楽しく意欲的に音楽活動に取り組む態度を身に付け、音や音楽に対する興味、関心を深める。
  2. 表現したいイメージや曲想を持ち、基礎的な表現の技能を身に付け、創造性を養う。
  3. 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

### ■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1 学期	○歌い合わせ、聴き深める喜び 発声 合唱 (合唱コンクール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな響き、英語の歌唱にあった発声法の取得</li> <li>・合唱によるそれぞれの声部の特徴や役割に応じた表現</li> <li>・旋律の重なり方や和音の響きを生かしたアンサンブル</li> <li>・指揮法・伴奏法の習得</li> </ul>
2 学期	○さまざまな音楽文化 日本の歌 (浜辺の歌) 外国の歌 (Amazing grace)  ○楽典・ソルフェージュ  ○鑑賞 (オーケストラ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞が表す情景の表現と比較</li> <li>・歌詞と旋律・ピアノ伴奏の関わりと効果の体感</li> <li>・拍子や速度、曲の形式を生かした歌唱表現</li> <li>・日本語と英語の響きの違いを意識した歌唱</li> <li>・基礎的な知識の学習 (各国の音名・階名・音符と休符・用語と記号)</li> <li>・表現や鑑賞の音楽活動に生かす</li> <li>・音楽の構成の仕方や形式を理解した鑑賞</li> </ul>
3 学期	○音楽とくらし 鑑賞 (雅楽：越天楽) (海外の伝統芸能)  ○言葉と旋律のかかわり (日本：早春賦) (イタリア：サンタルチアなど)  ○くらしと音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の背景となる文化・歴史の学習、鑑賞</li> <li>・速度や旋律、強弱などの特徴の聴き取りと、全体の構成の確認</li> <li>・雅楽の特徴や表現の理解 (海外の人に雅楽を説明)</li> <li>・国内外それぞれの音楽文化の比較、考察</li> <li>・旋律のまとまりや強弱を生かした歌唱</li> <li>・歌詞の内容を味わい、形式を理解した表現</li> <li>・発音の違いと旋律の関係を生かした表現</li> <li>・音楽著作権とインターネットについて</li> </ul>
評価の 方法と 割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価方法：定期試験 (実技試験・学期末筆記試験は日本語と英語で出題する) と平常点 (提出物・小テスト等) により各学期の成績を算出する</li> <li>●割合：定期試験：80% 平常点：20%</li> </ul>	
教科書・ 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書： 中学音楽 2・3 上 下「音楽のおくりもの」教育出版 中学器楽 「音楽のおくりもの」教育出版</li> <li>●副教材：「聖歌集」</li> </ul>	

科目名 (教科名)	音楽 (音楽科)				
担当教員	金沢智子				
学年	3	単位数	1	必修・選択・展開	必修

### ■ 授業の目的

1. 自主的に音楽活動に取り組み、音や音楽、多種多様な言語への興味・感心を高め、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
2. 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高め、創造性を養う。
3. 音楽文化についてその歴史的・文化的な意味と価値を理解し、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

### ■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	○発声・合唱 (合唱コンクール)  ○楽典・ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな響きのための発声法</li> <li>・発表による音楽表現の積極性</li> <li>・言葉と旋律・ピアノ伴奏の関わりと効果の体感</li> <li>・指揮法・伴奏法の習得</li> <li>・基礎的な知識の学習 (音名・階名・音符と休符・用語と記号)</li> <li>・表現や鑑賞の音楽活動に生かす</li> </ul>
2学期	○邦楽—沖縄の音楽にふれる 歌唱・楽器・創作  ○曲想の変化を生かした歌唱 イタリア歌曲 (帰れソレントへ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の歴史、文化、楽器、音楽の総合的学習</li> <li>・平和の尊さ、心の結び合いの素晴らしさについて考える</li> <li>・曲種に応じた歌唱の習得</li> <li>・気候風土、民族楽器、気質による各国の音楽特性の比較</li> <li>・イタリアの歴史、文化、音楽の総合的学習</li> </ul>
3学期	○音楽とくらし 鑑賞 (オーケストラ)  ○合唱 (旅立ちの日に)  ○くらしと音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独奏楽器とオーケストラの関係を理解する</li> <li>・独奏楽器の音色や奏法の特徴を聴き取る</li> <li>・歌詞に自己の想いを込め、速度、強弱の変化を生かした表現</li> <li>・音楽著作権とインターネットについて</li> </ul>
評価の方法と割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価方法：定期試験 (実技試験・学期末筆記試験) と平常点 (提出物・小テスト等) により各学期の成績を算出する。</li> <li>●割合：定期試験：80% 平常点：20%</li> </ul>	
教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科書： 中学音楽2・3上 下「音楽のおくりもの」教育出版           中学器楽 「音楽のおくりもの」教育出版</li> <li>●副教材：「聖歌集」</li> </ul>	